

I 平成25年調査結果の概要

本調査において新規就農者とは、次のいずれかに該当する者をいう。

- ①新規自営農業就農者： 農家世帯員で、調査期日前1年間の生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者
- ②新規雇用就農者： 調査期日前1年間に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）
- ③新規参入者： 調査期日前1年間に土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、新たに農業経営を開始した経営の責任者

就農形態別新規就農者数

平成25年の新規就農者数は5万810人で、平成22年以降は5万人台で推移している。

49歳以下の新規就農者数の推移をみると、平成20年から約1万8千～2万人の水準で推移している。

49歳以下の新規就農者について就農形態別にみると、

- ① 新規自営農業就農者（標本調査）は平成22年以降1万人台で推移
- ② 新規雇用就農者（標本調査）は農の雇用事業を開始した平成20年以降約6～7千人で推移
- ③ 新規参入者（全数調査）は、平成23年までは約1千人で推移したが、青年就農給付金事業を開始した平成24年に2千人を超え、平成25年も同様の水準となっている。

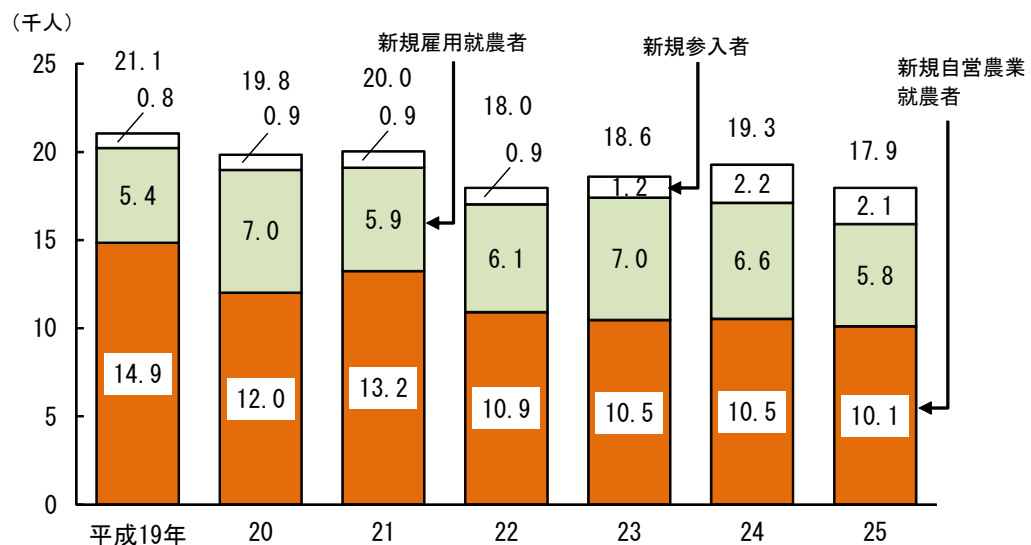
表 新規就農者数

単位：人

区分	計	就農形態別				
		49歳以下	44歳以下	新規自営農業就農者	新規雇用就農者	新規参入者
平成19年	73,460	21,050	…	64,420	7,290	1,750
20	60,000	19,840	…	49,640	8,400	1,960
21	66,820	20,040	…	57,400	7,570	1,850
22	54,570	17,970	…	44,800	8,040	1,730
23	58,120	18,600	…	47,100	8,920	2,100
24	56,480	19,280	17,260	44,980	8,490	3,010
25	50,810	17,940	16,020	40,370	7,540	2,900

注： 新規自営農業就農者、新規雇用就農者、新規参入者については、【利用者のために】9 用語の解説74ページを参照。

図 49歳以下の新規就農者数の推移（就農形態別）



◎ 平成22年の「新規参入者」は、東日本大震災の影響で調査不能となった岩手県、宮城県及び福島県の全域並びに青森県の一部地域、平成23年以降の調査結果は、調査不能となった福島県の一部地域を除いて集計した数値である。